２０２６年度　豊能地区　夏季研修会

日時　２０２６年７月２９日（水）９：３０～１２：００
会場　池田市立石橋中学校
内容　「個人製作を合体させて共同制作へ
　　そのディスプレイの仕方の工夫」
講師　松山　順子先生（池田市立石橋中学校）
参加人数　２９名

〈　準備物　〉
授業者：画用紙、花紙、磁石、ペーパーリーフ、アクリル板、カラーインク
　　紙コップ、ラミネート、マジックペン、カラーセロファン、作品を入れる袋など





今年度は、個人でさまざまな作品を作り、みんなの分を一緒に集めたら、楽しめる共同制作になるという体験をする研修をということで、松山先生に作品の作り方を聞きながら５つの作品作りをしました。

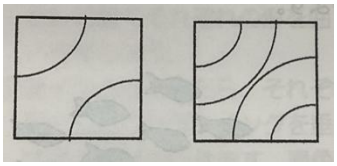
作品を作った後は、それぞれのブースごとに展示をして、共同制作の面白さを教えていただきました。

そして、１つだけでなく、いくつものアレンジができることを展示しながらさまざまな楽しみ方を教えていただきました。



①タイルアート

正方形の形の画用紙の点どうしをつないで、簡単な模様を描き、ペンなどで着色して色つきタイルを作って並べる。



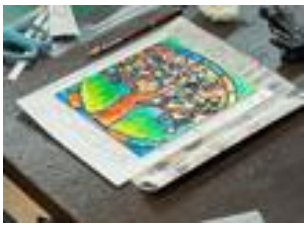






②ステンドグラス風アクリルスタンド

アクリル板にカラーインクを使って絵を描いて、ステンドグラス風の作品を作る。カラーインクが乾いたら、スタンドに取りつけて飾る。









③教室内を泳ぐ魚

身の回りにあるものを芯材にして、色つきのセロファンやビニール袋に入れて、ゴムやひもで形を整えて魚を作り、出来上がった魚を天井のひもに引っかけて、ディスプレイする。







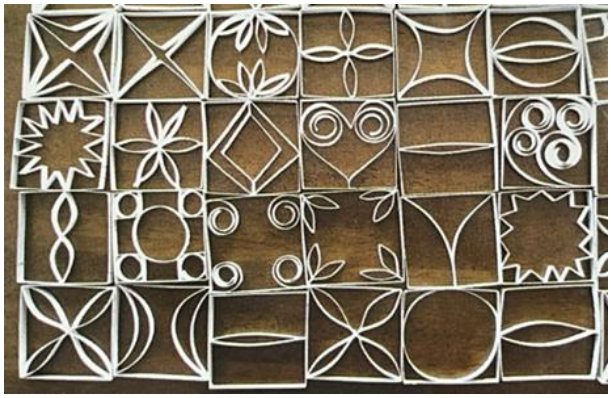
④サンキャッチャー風ハンギング

おはながみを折って、カラーマジックで同時に複数の面の着色をしたものを自由な形にカットしてラミネートする。リングで作品同士を連結し、窓際につるして、サンキャッチャー風の作品を楽しむ。




⑤重ねるペーパーリーフ

白い画用紙をテープ状にしたものを使って、正方形の枠を作り、その中にペーパークイリングに近い方法で模様になるパーツを作って入れ込み、作品を作る。作品ができた後、個人作品を横に並べたりしていろいろなパターンの模様ができることを楽しむ。



さいごに

　時間いっぱい作品づくりに取り組み、鑑賞する時間は短かったものの作品の掲示の仕方やアレンジの仕方、作品が動かせることでさまざまな見せ方ができることを実際の作品を見ながら教えていただけました。この研修を通して、子どもたちの作品をより魅力的に展示し、新たな発見や楽しみを見つけていける有意義な研修会でした。